

バイオセラピー学科 履修モデル

| コース | 種畜・緑化関連産業 | 人間植物関係関連 企画・管理、教育普及職 | 植物介在療法関連 | 調査・自然保護・環境教育職 (植物系) | 調査・自然保護・環境教育職 (動物系) | 動物園・動物管理技術系職 | |
|----------------|-------------|--|---|--|--|--|---|
| 開講区分 | 概要 | 花や種畜の産業にかかわるため、生産技術や植物活用の知識の習得を目指す | 植物を介して人、社会、環境に福祉的に貢献する企業、団体、行政の担い手育成を目指す。 | 園芸療法士を目指す。 | 植物の保護・保全にかかわるため、多様な植物の知識習得を目指す。 | 野生動物管理、調査、自然解説員、自然系 NGOなどを目指す。 | 高度な専門知識と技術が必要な、動物取り扱い業を目指す。 |
| 総合教育科目 | 人間関係科目 | 文化人類学 生命倫理 科学と哲学 | 科学と哲学 芸術 | 文化人類学 生命倫理 | 文化人類学 生命倫理 科学と哲学 | 文化人類学 生命倫理 | 文化人類学 生命倫理 |
| | 社会関係科目 | 現代社会の諸問題 経済入門 | 現代社会の諸問題 国際関係を考える | 現代社会の諸問題 | 現代社会の諸問題 国際関係を考える | 経済入門 国際関係を考える | 経済入門 現代社会の諸問題 |
| 学部専門教育科目 | 自然関係科目 | 生物学 化学 | 生物学 | 生物学 | 生物学 地学 | 生物学 | 生物学 |
| | 課題別科目 | 食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目 | 食料生産と自然環境 ハイオテクノロジーと生活 環境と人間 | 食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目 | 食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目 | 食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目 | 食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目 |
| 学部専門教育科目 | 英語科目 | TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) | 英会話(一) 英会話(二) | 英会話(一) 英会話(二) | TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) | TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) | TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) |
| | 就職準備科目 | インターンシップ | インターンシップ | | インターンシップ | インターンシップ | インターンシップ |
| 学部専門教育科目 | 専門共通科目 | 環境科学 生物化学 知的財産論 動物園論 | 環境科学 動物園論 健康福祉概論 心理学概論 | 動物園論 植物生長調節論 心理学概論 | 環境科学 知的財産論 動物園論 | 環境科学 動物福祉 動物園論 | 動物福祉 知的財産論 環境科学 動物園論 健康福祉概論 心理学概論 |
| | 創生型科目 | | 実学的生命活用 | 実学的生命活用 | | | |
| 学部専門教育科目 | 学際領域科目 | 植物生理生態学 自然再生技術論 農業と生態系 植物生長調節論 民族植物学 | 植物生理生態学 自然再生技術論 地球環境政策論 農業と生態系 農業経営学 民族植物学 | 植物生理生態学 植物生長調節論 民族植物学 | 植物生理生態学 自然再生技術論 地球環境政策論 農業と生態系 民族植物学 | 植物生理生態学 自然再生技術論 地球環境政策論 農業と生態系 民族植物学 | 地球環境政策論 |
| | 学科専門科目 | 専門基礎科目 | 生物統計学 生物保全学 生物環境関係法規 遺伝学 | 生物統計学 子どもの発達と生き物 ポランティア論 人体生理学 | ポランティア論 生物保全学 人体生理学 子どもの発達と生き物 | 生物統計学 子どもの発達と生き物 生物環境関係法規 遺伝学 ポランティア論 人体生理学 家畜生理・生体機構学 家畜行動心理学 生物保全学 | 生物統計学 子どもの発達と生き物 生物環境関係法規 遺伝学 人体生理学 家畜生理・生体機構学 家畜行動心理学 生物保全学 |
| 学部専門教育科目 | 専門コア科目 | 植物育成管理論 植物形態・分類学 植物地理学 園芸植物活用法 社会園芸学 都市園芸学 野菜・草花の育て方 果樹・樹木の育て方 ハープの育て方 | 植物育成管理論 植物形態・分類学 野菜・草花の育て方 果樹・樹木の育て方 社会園芸学 都市園芸学 ハープの育て方 植物介在療法(二) 園芸植物活用法 社会福祉概論 生物介在療法評価法 | 植物育成管理論 植物形態・分類学 野菜・草花の育て方 果樹・樹木の育て方 ハープの育て方 植物介在療法(二) 園芸植物活用法 リハビリテーション医学概論 社会福祉概論 療法の場の設計 生物介在療法評価法 看護・介護概論 | 植物育成管理論 植物形態・分類学 野菜・草花の育て方 果樹・樹木の育て方 植物地理学 園芸植物活用法 ハープの育て方 社会園芸学 都市園芸学 | 野生動物生態学 世界の動物 動物形態・分類学 動物形態・分類学 植物地理学 植物形態・分類学 | 世界の動物 動物形態・分類学 伴侶動物ブリーディング論 家畜管理学 家畜栄養学 心理臨床・教育と動物 野生動物生態学 |
| | 他学科(畜産学科)科目 | | | | | 実験動物学 飼料科学 家畜疾病学 家畜飼養学(一) 家畜衛生学(一) 家畜繁殖学(一) 動物解剖学 | |
| 植物介在療法特別カリキュラム | | | | カリキュラムの科目履修 | | | |

| コース | 伴侶動物関連企業職 | 福祉・医療関連分野 | 公務員 | 農業科教員 | 理科科教員 | 進学 | |
|----------|-------------|--|---|---|--|--|--|
| 開講区分 | 概要 | 伴侶動物関連企業での動物管理・販売・飼育責任者を目指す | 福祉・医療・社会教育関連分野における動物活用のプランナー、実施責任者をめざす。 | 各種技術職および行政職公務員をめざす。 | 高校の農業科教員を目指す。 | 中・高校の理科科教員を目指す。 | 研究職はもとより、各分野より高度で専門的な職業をめざす。 |
| 総合教育科目 | 人間関係科目 | 文化人類学 生命倫理 科学と哲学 | 生命倫理 科学と哲学 | 技術職公務員を希望する者は、職種によって必要な履修科目が大きく異なるので、指導教員とよく相談して履修してほしい。 | 生命倫理 | 生命倫理 | 進学を希望する者は、志望分野によって必要な履修科目が大きく異なるので、指導教員とよく相談して履修してほしい。 |
| | 社会関係科目 | 経済入門 国際関係を考える | 日本国憲法 現代社会の諸問題 | | 日本国憲法 | 日本国憲法 | |
| 学部専門教育科目 | 自然関係科目 | 生物学 | 生物学 数学 物理学 | | | | |
| | 課題別科目 | 食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目 | 環境と人間 特別講義のうち1科目 | 特別講義のうち2科目 | 農業科教員を希望する者は、教職課程科目や、ここに示す科目から教員資格取得に必要な単位数を選択すること | 理科科教員を希望する者は、教職課程科目や、ここに示す科目から教員資格取得に必要な単位数を選択すること | 入試科目に英語が課せられることが多いので、特に英語についてしっかり学習する必要があります。 進学にはTOEFLなどのスコアが必要になるので、在学中から受験してほしい。 |
| 学部専門教育科目 | 英語科目 | ビジネス英語 | TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) | | | | TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) 科学英語 |
| | 初修外国語科目 | | ドイツ語・フランス語・中国語のうち1ヶ国語 | | | | |
| 学部専門教育科目 | スポーツ関係科目 | | | | スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二) | スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二) | |
| | 就職準備科目 | ビジネスマナー インターンシップ | インターンシップ | ビジネスマナー インターンシップ | | | |
| 学部専門教育科目 | 専門共通科目 | 動物福祉 知的財産論 動物園論 健康福祉概論 | 動物福祉 知的財産論 動物園論 健康福祉概論 心理学概論 | | 環境科学 生物化学 動物園論 | 環境科学 生物化学 動物園論 | |
| | 創生型科目 | | 実学的生命活用 | | | | |
| 学部専門教育科目 | 学際領域科目 | 地球環境政策論 | 地球環境政策論 農業と生態系 生命科学 | 行政職や社会教育系の公務員を希望する者は、個別科目は指定しないが人間・社会関係科目や、創生型のような地域との関わりを持つ科目、および現代的課題を取り上げた科目を重視して履修 | 農業と生態系 農業経営学 (民族植物学) | 植物生理生態学 植物生長調節論 生命科学 分子生物学 自然再生技術論 | |
| | 学科専門科目 | 専門基礎科目 | 子どもの発達と生き物 生物環境関係法規 遺伝学 家畜生理・生体機構学 家畜行動心理学 | 生物統計学 子どもの発達と生き物 生物環境関係法規 人体生理学 家畜生理・生体機構学 家畜行動心理学 ポランティア論 | 家畜生理・生体機構学 家畜行動心理学 (子どもの発達と生き物) (ポランティア論) (生物保全学) | 化学実験 生物保全学 遺伝学 生物統計学 (子どもの発達と生き物) | |
| 学部専門教育科目 | 専門コア科目 | 世界の動物 動物形態・分類学 伴侶動物ブリーディング論 家畜管理学 家畜栄養学 心理臨床・教育と動物 動物介在療法(二) 介在療法動物園 社会福祉概論 療法の場の設計 生物介在療法評価法 看護・介護概論 | 世界の動物 動物形態・分類学 伴侶動物ブリーディング論 家畜管理学 家畜栄養学 心理臨床・教育と動物 動物介在療法(二) 介在療法動物園 リハビリテーション医学概論 社会福祉概論 療法の場の設計 生物介在療法評価法 看護・介護概論 | 社会園芸学 都市園芸学 野菜・草花の育て方 果樹・樹木の育て方 ハープの育て方 家畜管理学 家畜栄養学 園芸植物活用法 (植物介在療法(二)) (動物介在療法(二)) (社会福祉概論) (生物介在療法評価法) (心理臨床・教育と動物) (療法場の設計) | 植物育成管理論 植物形態・分類学 野生動物生態学 動物形態・分類学 伴侶動物ブリーディング論 (植物地理学) (世界の動物) (心理臨床・教育と動物) | カコ内の科目は教員資格の要件ではないが、本学科卒業生としての特色を生かすために履修を勧める。 | |
| | 他学科(畜産学科)科目 | | | | カコ内の科目は教員資格の要件ではないが、本学科卒業生としての特色を生かすために履修を勧める。 | | |

(注意)上記の履修モデルには学部・学科の必修科目は記載しておりません。